

科学や技術を五感で感じる サイエンスデイ2016

大学・研究所や企業などの研究者・技術者や科学部に所属する中高生などが、科学プログラムなどを出展する「サイエンスデイ2016」が7月17日、東北大学川内北キャンパス(仙台市青葉区)などで行われた。

10周年を迎えた今回は、大学・研究所や企業、行政や教育機関が出展し、合計110のプログラムが実施された。



目に見えないほど微小な素粒子(放射線)。その軌跡を「霧箱」使った実験で観察した



自作の模型で、サイフォンの原理について説明する生徒

准教授がクイズを交えながら解説。「将来できるであろうルーCを楽しみに待っていてください」と子どもたちに話した。

また、仙台第二高校物理部のブースでは、生徒が身近な「水」を題材に、サイフォンの原理の実験などを披露した。

ある生徒は、「サイフォンの原理のメカニズムを示す式を理解するのに、私たち自身が苦労しました。それを、小生にわかりやすく説明するために、みんなで協力して準備をしてみました」と話した。

県内の小学生がものづくりを楽しむ トヨタ東日本学園「夏休み親子工作教室」



トヨタ東日本学園の生徒の手ほどきを受けながら、児童は工作を楽しんだ



予測不可能な「かってにクネクネ走るカー」の動きに、会場は興奮に沸いた

「夏休み親子工作教室」が7月23日と24日に、トヨタ東日本学園(大衡村)で行

われ、県内の小学生と保護者がものづくりを楽しんだ。4年目の開催となった今

回は、自動車のエンジンに使われる「カム」と呼ばれる機構を使った「かってにクネクネ走るカー」が題材。参加した児童は、糸のこや紙やすりを使って材料を加工し、自動車模型の製作に挑戦した。

初日にサポート役を務めた同学園のある生徒は、「今日はいつもとは反対に、人に教える立場です。専門用語は小学生がわかりやすい言葉に置き換えて説明するように気を付けました」と話した。

生徒が地元企業の生の声を聞く 高校生のための合同企業説明会

就職を希望する高校生が、県内の企業から、職種や業務に関する理解を深め、今後の適切な進路選択を行えるようにすることを目的とした

「平成29年3月新規高等学校卒業予定者のための合同企業説明会」が、今年も県内各地で開催された。

7月25日に塩釜ガス体育館(塩釜市)で行われた説明会では、塩釜市、多賀城市、利府町などから企業30社、高校生●●●人が参加。生徒が希望する企業のブースに移動して企業の担当者か

ら話を聞くというシステムで、20分間の説明会を4回行った。ある企業の採用担当者は、「成果が形に残り、人の目に付くというものづくりのやりがいについて伝えました。仕事のやりがいや適性は仕事をしながら見つけるものです。高校生のみなさんには、自分が興味を持っている仕事にチャレンジ精神を持って挑戦してほしいです」と話した。



会社の情報や商品を熱心に説明する企業担当者



真剣にメモを取りながら説明を聞く生徒たち

参加したある生徒は、「気になる企業の担当者から、直接仕事の内容を聞くことができました。企業理念や社

同説明会は、宮城県、宮城労働局などが主催。塩釜市をはじめ県内7つの会場で行われた。

自動車整備の知識と技でしのぎを削る 高校生ものづくりコンテスト東北大会

工業系高校で日ごろ取り組んでいるものづくりの学習効果の発表の場として、生徒が技術・技能を競い合う「高校生ものづくりコンテスト」の自動車整備部門東北大会が7月29日、花壇自動車大

25分の制限時間内に、エンジン内部の測定や自動車点検、故障車の探求作業について技を競い合った。

宮城県代表の村田高等学校3年の平間蓮選手は、競技終了後、「緊張して練習の成果が十分に発揮できませんでした。将来自動車整備士を目指している、この悔しさを今後に生かしたいです」と感想を話した。

採点の結果、山形県代表の選手が1位となり、11月に北海道で行われる全国大会への切符を手にした。

工業高校教員がものづくりの基礎を学ぶ 仕上げ技術技能指導力向上講習会

工業高校で機械実習の指導を行う教員が、実技を通じてものづくりの基礎となる技術を学び、指導力の向上を図る講習会が8月1日から3日間、宮城県石巻工

業高校で行われた。全国工業高等学校校長協会が取材、宮城県では初めて実施され、宮城県内のほか栃木県、兵庫県から8人の教員が受講した。



2人の受講者に対して1人のものづくりマイスターが丁寧に指導した



ものづくりマイスターと受講者の表情は真剣そのものだ

受講者は、ボール盤作業の際に加工作物の締め付けに使われる「平行クランプ」の製作に挑戦。厚生労働省が認定する「ものづくりマイスター」から、やすりがけや直角出し、磨きなど基本的な動作について指導を受けた。

受講者の一人は、「教員になって20年以上経ちますが、その道の達人に、じっくりと指導していただいたのは初めての経験でした。私のような程度キャリアを積んだ教員でも、基礎

基本から勉強する気持ちを忘れてはいけないことをあらためて実感しました」と話した。

今回の講習会を協賛した一般財団法人澁谷ものづくり人材育成研究所の奥嶋建城代表理事は、「企業が高卒者に求めているのは、あらゆることに疑問を持ち、学ぶ姿勢を絶やさないものづくりの姿勢だと思っています。先生方には講習で感じたことを、高校での指導を通して生徒に伝えてほしい」と話している。



真剣な面持ちで測定課題に挑む、宮城県代表の平間選手



実技課題では、作業スピードのほか、正確さや安全意識なども求められる

ぜひ参加ください！ 「これからのイベント」開催情報

○サイエンスプラス(ものづくり体験教室)
ものづくり志向を持った人材育成と栗原地域の魅力発信を目指し、栗原地域の企業・学校などと連携して楽しみながら学べるものづくり体験教室を開催します。多彩な講座が用意されています。第●回東北ポリテックビジョンin栗原も同時開催されます。



【開催予定日】
日時/10月1日(土) 10時~15時30分
場所/東北職業能力開発大学校
申込/ホームページにある参加申込書に必要事項を記入の上、
FAXまたはEメールで。
申込締切/●月●日(●) ※必着
問/022-211-2764
(宮城県産業人材対策課)
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/scienceplus.html

○やぎまる(こ)フェスティバル2016
「つなぐ!味や技スマイル」をテーマに開催。県内各地の特産品・農林水産物・加工品・工芸品の展示・販売を行います。宮城県産品が当たるクイズラリーや伊達武将隊による料理教室などがあります。

【開催予定日】
日時/10月15日(土)・16日(日) 10時~16時
場所/宮城県庁1階フロア、県庁前駐車場、勾当台公園、市民広場
問/022-211-2815
(みやぎまる(こ)フェスティバル実行委員会)
【宮城県産業振興課内】
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokushin/marugoto2016.html